

若者交流による参加型調査を契機とした地域学習・実践活動の活性化

ーあきた元気ムラ調査を通じた交流学習プログラム構築の試みからー

2019年9月27日 秋田県庁

大正大学地域創生学部 専任講師 出川 真也

1. はじめに 出川研究室について

2. あきた元気ムラの調査について

(1) 目的

「あきた元気ムラ・山菜ネットワーク」と首都圏大学との連携による地域生業と若手担い手人材育成の相乗的活性化方策に関する研究

(2) 調査内容

- ① 山菜等を中心とする地域生産物・産品・集落活動調査
- ② 山菜等の地域資源を軸とした首都圏発信・PR・交流策に関する研究
- ③ 学生と集落の連携活動プログラム設計のための地域調査

(3) 調査方法

- ① ヒアリング ((4) ①~⑩)
- ② 地元学手法を用いた参加型地域資源調査ワークショップ (①⑤⑦⑧⑩)
- ③ ロジックモデルシートを用いた参加型アセスメントワークショップ (①⑤⑦⑧⑩)
- ④ 上記を通じた既存活動の振り返りと新規活動の検討 (①⑤⑩、⑤はモデルプログラム策定)

(4) 調査実施地

- ① 由利本荘市赤田地区 -加工場拠点と地域協働の集落活動の展開-
 - ② 由利本荘市三ツ方森地区-わらび粉作りを軸とした山林管理プログラム構築-
 - ③ 羽後町仙道地区-交流拠点づくりを通じた集落づくり-
 - ④ 横手市金井神・上坂部地区-山菜資源の管理と活用・伝承に向けた試み-
 - ⑤ 仙北市田沢地区-女性達の手作り山菜料理の地域づくり-
 - ⑥ 五城目町馬場目杉沢地区-山村資源と農家レストランによる交流の村づくり-
 - ⑦ 上小阿仁村南沢地区-栗林から食用ホオズキまで住民手作り活動の活性化-
 - ⑧ 男鹿市鮪川地区-名水を活かした特産品づくり-
 - ⑨ 能代市梅内地区-薪・山菜等の森林資源の保全整備と活用-
 - ⑩ 大館市山田地区-原木マイタケの取組、各世代が主となる集落運営-
- ※以上の他、大仙市協和地区-よしかタンポポの取組を軸とした交流ワークショップ-

(5) 結果

地域資源資料とアセスメント資料の生成 人材育成の計画づくりに向けた情報と論点整理の推進

3. 主体的・内発的取組へと誘発する調査と実践手法の試み

交流・学習・実践を一体的に推進する参加型調査パッケージの考案

(1) 地元学

(2) ロジックモデル

(3) 参加型活動アセスメント・行動計画策定と実践